



しろね図書館だより

No.152

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館

新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510

shirone.cl@city.niigata.lg.jp

平成25年1月発行



謹賀新年

新年のご挨拶

新年、おめでとうございます。

どんな年末年始を迎えられたでしょうか。

「クリスマス・イブ」を聴いて、

忘れかけてたものを思い出し、

「クリスマス・キャロル」を読んで、

少し善人になった気分になり、

「芝浜」を聞いて、ほろ酔いで年越し…。

そして新年、辛いことも嬉しいこともある

でしょう。図書館は今年も、そんな皆様のご来館を心からお待ちしております。

♪あなたとわたしの合言葉、

白根図書館で逢いましょう。

白根図書館長 石口道生

新しい年、2013年がはじまりました。

今年も、皆様の暮らしにお役に立てますよう

職員一同、励んでまいります。

新しい年最初の図書館だよりをお届けします。

蔵書点検の休館と 3週間貸出のお知らせ

蔵書点検にともない、白根図書館は下記のとおり休館します。

図書館名	休館期間	※3週間貸出の期間
白根	平成25年1月23日(水) ~1月30日(水)	平成25年1月9日(水) ~22日(火)

○休館期間中は時間外返却口・図書館ポストをご利用ください。

AV(視聴覚)資料の返却はできません。

○蔵書点検期間中、電話による所蔵の確認、予約、貸出の延期、レファレンス等はお受けできません。開館している図書館にお願いいたします。

○この期間、月潟図書館は平常どおり開館しています。



『花の木村と盗人』 新美南吉著 小学館

●小学校4年生の教科書に掲載されている。矢代田小学校でボランティアのブックトークをすることになり、作品を読んだ。角兵衛獅子が出てくるが、クラス40人のうち1人しか知らなかった。子どもたちに伝えたい。

『狂と遊に生きる 一休・良寛』

久保田展弘著 中央公論社

●名主の家に生まれた良寛は、出家してお金も名声もいない生活をおくる。今そういう人間を必要としているように思う。同じく越後出身の相馬御風の研究が良寛普及に貢献した。

『オルレアンからの贈り物』

坪川藤夫著 アサヒ印刷

●今でこそ白根の名産としてル レクチェの名前は知られているが、昭和40年代はほとんど知られていなかった。新潟の芸者さんが食べて広まったらしい。先人の苦労は並大抵ではない。

『おばばの夜語り 新潟の昔話』

水沢謙一著 平凡社

●水沢氏が新潟に住む語り手から集めた昔話集。昔話は耳で聞く伝承文学なので、方言のまま語り継ぎたい。年配の方が、お孫さんに読んであげてほしい本。

No.146

12

月の読書会

今月のテーマ 新潟

に関する本

2012年12月16日

参加者6名 日曜日

『しろね断章の風景』

ふるさとしろねを想い伝える会編

●戦争未亡人に聞き取りをして、本を作った。当時は時代も時代だし、明日はどうなるかわからない状況で支えあって生きていた。風呂を借りに行くなど地域のつながりがあった。

↓その他に紹介された本

- | | | | | |
|-------|--------------------|-----------|---------|------|
| エッセイ | 『みみづく通信』 | 『太宰治全集 4』 | 太宰治 著 | 筑摩書房 |
| 批評 | 『日本の橋』 | 保田與重郎 著 | 講談社 | 学術文庫 |
| 児童文学 | 『八月の子どもたち』 | 甲田天 作 | 朝日学生新聞社 | |
| 絵本 | 『ある池のものがたり』 | 三芳 悌吉 さく | 福音館書店 | |
| 郷土の歴史 | 『哀愁の小吉郷』 | 白根市 | | |
| 歴史/写真 | 『宮本常一の写真に読む失われた昭和』 | 佐野真一 著 | 平凡社 | |



次回の読書会

1月20日(日)午後2時～

1月の読書会のテーマ

会場 白根学習館ルーム2

「教科書に載った本、
載せたい本」



申込みはいりません。
気軽に本の話を楽しみましょう。
おいしいお茶とお菓子を用意してお待ちしています。

しろね図書館友の会共催



読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする午後のお茶会のような集まりです

『白狐魔記 源平の風』

齊藤洋作 偕成社



絵本や物語、昔話など…きつねが人を化かす話しはよくありますが、みなさんはきつねが人間を化かす、なんてこと本当にあると思いますか。この物語の主人(?)公は、人間に興味を持っている1匹の若いきつね。このきつねも、きつねが人に化けたりすることなど出来るのだろうか、と訝っています。

ある日、白駒山に住む仙人のもとで修行を積むことで、人を化かしたり風を吹かせたりする神通力を手に入れられると耳にしたきつねは、本当かどうか知りたいという思いから白駒山を探しに行きます。その旅の途中、風によってかすかに聞こえてくる声をたよりに山を駆け上がったきつねの目に入ったものは、赤い旗と白い旗を持った何百、何千という人間。源氏と平家が戦っている姿でした。そしてこの瞬間きつねは、人間が殺すのはきつねや鳥に限らず、同じ人間でもあるということを知ったのです。

賢く、また同時に愚かな人間。人間とは一体どういうものなのか。白駒山に辿り着いたきつねは仙人のもとで修業を積み、不老不死と人間に化ける術を身につけます。白狐魔丸という名前を授けられたきつねが、人間を側で観察し交流していく中で思うことは…。

第1巻『源平の風』では平安時代を背景に源義経と出会い源平の戦いに巻き込まれて行きます。第2巻『蒙古の波』では鎌倉時代に、昨年11月に刊行された第6巻『元祿の雪』では江戸時代中期に、白狐魔丸はそれぞれ有名な歴史上の人物と出会うことになります。

きつねの目から見た人間とは？

作者は『ルドルフとイッパイアッテナ』など多くの児童書を手掛ける齊藤洋さん。

小学生から大人まで楽しめる大河物語です。



「へびのクリクター」

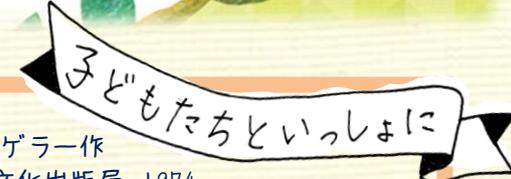
トミー・ウンゲラー作
中野完二訳 文化出版局 1974

今年(ことし)はへび年(へびとし)。『のはらうた』の「へびいちのすけ」もイイやつですが、この「へびのクリクター」も、かしこくて勇氣(ゆうき)いっぱい！お子(こ)さんとご一緒(いっしょ)に愉快(ゆかい)な絵本(えほん)をお楽しみ(たのしみ)ください。

ポド(ポド)さんの誕生日(たんじょうび)、爬虫類(はちゅうるい)を研究(けんきゅう)しているむすこ(むすこ)さんからのプレゼント(プレゼント)は、なんとへび。ポア・コンストリクター(ポア・コンストリクター)という毒(どく)のない大蛇(だいじや)でした。ポド(ポド)さんはこの蛇(へび)にクリクター(クリクター)という名(な)をつけて、子ども(こ)ものようにかわいがります。

学校(がっこう)の先生(せんせい)をしているポド(ポド)さんは、クリクター(クリクター)を教室(きょうしつ)に連れていきました。自分の体(からだ)をくねらせて、S、N…、アルファベット(アルファベット)になったり、1、2、3…、数字(すうじ)になったり。クリクター(クリクター)は子ども(こ)もたち(たち)に大人気(だいじんき)です。

ある晩(ばん)、泥棒(どろぼう)が押し入り(おし)、ポド(ポド)さんを縛(しば)ってしまいました。クリクター(クリクター)の怒(おこ)ったこと。さあ、本領(ほんりょう)発揮(はっき)です。



くるくるまるまって、ポド(ポド)さんのひざ(ひざ)にのり、ミルク(ミルク)を飲む(のむ)クリクター(クリクター)がとてもキュート(キュート)です。表紙(ひょうし)にクリクター(クリクター)もいますよ。見(み)つけてください(ください)ね。(村山)

報告 クリスマスおはなし大会

おはなし、
おもしろかったよ

12月22日、毎年恒例の「クリスマスおはなし大会」をボランティアグループ「おはなしかご」の皆さんと開催しました。寒さの中、小さなお子さん、小学生、大人を含め、のべ80人の参加があり、にぎやかなひと時となりました。

おはなしや絵本のよみきかせが、みんなの心を温めるよい贈り物になったかと思えます。

参加者には、手作りのクリスマスグッズをプレゼント。もらった人の喜ぶ顔を思いうかべ一生懸命準備しました。

違うプログラムで4回行い、クリスマス、冬に関するおはなしや絵本のよみきかせを、楽しみました。

おはなし：「ゆきむすめ」

「森の中の三人のこびと」など
よみきかせ：「ごろごろどっしーん」

「しんせつなともだち」

「わたしのすきなもの」など

今月の展示架

「2012年を振り返って」



2012年を振り返り、さまざまな本を展示しました。

現代や移り行く世相を映す本、

変動の激しい時だからこそ

変わらぬ価値を語りかけてくれる本、

あるいは、極上エンターテイメントや話題作。

あの講演会の方の本も…

本の中から、新しい展望が見つかる?!

2/6までの行事

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のよみかたり 14:10～
ストーリーテリング 14:30～
1/26はお休み(蔵書点検)

おはなしかご例会
第2、第4週土曜日

1/12(ルーム4・5) 10:00～
1/26(プレイルーム) 10:00～
*図書館は蔵書点検中

1月9日(水)
2月6日(水)

ブックスタート(南区)
1歳誕生歯科健診会場

1月20日(日)

読書会(ル-42) 14:00

白根図書館休館日

毎週金曜日・毎月第一水曜日 と蔵書点検期間

1/11(金) 1/18(金)

1/23(水)～1/30(水)；蔵書点検のため

2/1(金) 2/6(水)

12月の来館者数……… 11,413人

ブックバス：冬の間はお休みです



★冬季(12、1、2月)はお休みします。2/28・大鷲小から再開します。また、お会いしましょう。

※ブックバスでお使いのカードで、新潟市の図書館を利用できます。新潟市全域のいろいろな所に図書館がありますよ。どうぞ、ご利用ください。

